


# 平成 22 年度

	<b>千代田区立神田一橋中学校</b>	生徒数と学級編成					
		学 年	1	2	3	計	
所在地 東京都千代田区一ツ橋2 - 6 - 14 電 話 (3265) 5961 FAX (3265) 4040 最寄駅 JR線;お茶の水・水道橋 地下鉄;神保町・竹橋・九段下	校 長 岡田 行雄 副 校 長 奥山 拓雄 PTA会長 赤池 延浩	学級数	3	4	4	11	
	開校記念日 5月2日	生徒数	男	58	79	81	218
			女	46	58	57	161
		計	104	137	138	379	

## 教育の概要

### 1 学校・地域の特徴

近隣には、皇居の内堀があり、また毎日新聞社、学士会館、如水会館などの施設及び、書店や出版関係の事業所がたち並ぶ等、歴史と伝統が息づく文化的環境にある。

平成17年4月1日に神田地区三校(一橋中・今川中・練成中)が統合し、神田一橋中学校としてスタートした。学校・家庭・地域の緊密な連携を基盤として、子どもたちを共にはぐくむ教(共)育を推進している。

落ち着いた教育環境のもとに全教職員が一丸となり、学力・情報・進路・地域をキーワードとし、夢・学力・心・体を柱に調和のとれた特色ある教育活動を実践している。

### 2 教育目標

伝統・文化が息づき、人間味溢れる神田の地域において、地域とかがわり、地域に学び、地域から信頼される学校教育の実現を目指し、未来社会を創造する子どもたちに、知・徳・体の調和のとれた人間教育を推進する。

心身ともに健康で、人間性および社会性の豊かな日本人の育成をねらいとし 次の三つを教育目標に掲げる。 向 学・・・向学心に燃え、意欲的に学び続ける人 礼 節・・・他を思いやり、礼儀正しい人 貢 献・・・広い視野を持ち、進んで社会に貢献する人
---

### 3 学校の教育目標を達成するための基本方針

基本方針1 人権尊重の精神を基調とし、人間教育(生き方教育)推進する。

心豊かな生徒を育成するために、社会体験や自然体験、福祉・ボランティア活動を推進する。

いじめ・不登校のない学校を目指すために、組織的な教育相談を行い温かい人間関係づくりに努める。

自ら進路を切り開く生徒を育成するために、自己の将来を見つめる指導の工夫をする。

基本方針2 個に応じ、個を生かす教育を推進する。

生徒個々の基礎的な学力の向上と能力・適性に応じた指導をするために、多様な学習形態(少人数・習熟度別等)や学習の場(放課後・土曜日)を工夫し設定する。

特別支援教育を推進するために、コーディネーターを中心に教員の高い意識の協働により個別支援体制の充実を図る。

基本方針3 生涯を通して学習やスポーツに取り組む生徒の育成を推進する。

自己管理能力を養うとともにたくましく生きる力を育成するために、健康・安全教育や食育を推進する。

主体的に学ぶ力や文化・スポーツに親しむ能力・態度を育成するために、文化的・体育的行事や部活動、放課後「ふれあいタイム」を充実する。

基本方針4 高度情報化・国際化社会に対応する教育を推進する。

情報教育の推進を図るために、情報モラル・スキル・ライセンスを柱とした情報教育を行う。

環境教育の推進を図るために、CES活動を踏まえた、実践的な行動で環境教育を行う。

基本方針5 地域に信頼されるよう開かれた学校教育を推進する。

学校・家庭・地域の教育力の充実と連携を図るために、学校運営連絡会や学校関係者評価を適切に行う。

学校の様子を知らせるために、授業や行事等の公開、HPの更新、学校紹介ビデオ制作、学校だより(かわら版)の発行等、積極的に教育情報を発信する。

### 4 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

ア 各教科

生徒の個性や能力に応じたきめ細かい学習指導を進めるために、習熟度別少人数授業(数学・英語)を実施する。

情報活用能力を向上させるために、コンピュータを活用した授業の研究・実践を推進する。

目標・指導・評価が一体となる教育活動を展開するために、指導と評価の工夫・改善を図る。

読書習慣を確立するために、毎朝10分間の朝読書を全校で実施する。

## イ 道徳

思いやりの心をもち人間性豊かな生徒を育成するために、全教育活動を通して、人権尊重の精神に基づき、命の大切さについて指導する。  
道徳教育の充実・改善を図るために、心の教育コーディネーターの協力を得て充実した授業を実施する。  
道徳的実践力を高めるために、道徳授業地区公開講座を通して、地域社会や家庭との連携に努める。  
人間としての生き方を学び礼儀を身に付けるために、地域行事への参加や奉仕活動などを通して、地域の人々とふれあう機会をつくる。  
道徳教育を推進するために、道徳教育推進教師を中心に全教職員による組織的な取組を行う。

## ウ 総合的な学習の時間

情報教育と生き方学習を系統的に実施するために、全学年「情報」「進路」をテーマに、3年間の年間指導計画を作成する。

ア 情報；情報モラル・情報処理能力・パソコン検定を計画的に実施する。

イ 進路；地域学習や職業に関する体験的な学習等を通して自己の生き方を学ぶ。

課題解決能力やプレゼンテーション能力の育成を図るために、自ら課題を見付け、課題解決に向けて、調査・収集・まとめ・発表などの活動を行う。

調べ学習を充実させるために、コンピュータ・図書・地域人材の積極的な活用を図る。

年間を通して食に関する指導を行うために、関連教科（保健体育、技術・家庭）との連携を図り指導する。

望ましい勤労観と職業観をはぐくむために、3年間の見通しをもって、進路指導との関連を図りキャリア教育を推進する。

## エ 特別活動

集団の一員としての自覚を向上させるために、学級活動では、生徒会活動、学校行事との関連を図り、自主的・実践的な活動を通して問題解決能力を養う。

望ましい集団生活を送るための自治力を育成するために、生徒会活動の活性化を図る。

生徒の自主性・創造性を育成するために、学校行事を充実させ、協力し合い、やり遂げることにより成就感や連帯感を深める。

学校行事では、生徒の自治力を高めるために、実行委員会を中心に生徒の自主的な取組を実践する。

## (2) 特色ある教育活動

### ア 学力向上

1学級を2展開する少人数授業（数学・英語）等多様な学習形態を展開する。

各定期考査前に質問教室を開催する。

基礎・基本を定着させるために、放課後に補充学習を行う。

土曜日に学力パワーアップ教室を開催し、より発展的な学習を行う。

夏季休業中に全学年を対象にした補充学習を行う。

漢字検定・英語検定などの各種ライセンスの取得を推進する。

### イ 情報教育

あらゆる教科でコンピュータを活用した授業を行う。

個に応じたライセンスを取得する機会をつくる。

セーフティ教室等、様々な機会を通して情報モラル教育を行う。

### ウ 進路指導

きめ細かい進路相談・進路指導により、進路の選択・決定能力向上を図る。

1年；地域学習、職業調べ、職場訪問の実施

2年；職場体験、社会体験・インターシップ、上級学校調べの実施

3年；上級学校訪問の実施、進路相談・進路指導の充実

### エ 地域交流

神田地域の伝統文化を体験し地域の理解を深める。

地域行事・地域活動・ボランティア活動へ積極的に参加する。

地域人材の活用や地域への学校の人材活用を行う。

### オ 特別支援教育

特別支援教育を必要とする生徒に適切な支援を行うために、次の取組を行う。

専門機関と連携し、支援を必要とする生徒を正確に把握し的確な支援を行う。

組織的に個別の教育支援計画を作成する。

支援計画に基づいて、通級学級と連携しながら特別支援教育コーディネーターを中心に組織的に指導を行う。

## (3) 生活指導・進路指導

### ア 生活指導

意欲的に授業に取り組む生徒を育てるために、落ち着いた生活環境を維持し、学ぶ立場を自覚させる。

心豊かな生徒を育てるために、すべての教育活動を通して、思いやりと協力する心を育成する。

社会生活の基本を身に付けた生徒を育てるために、あいさつ、言葉づかい、服装の指導を徹底する。

社会の一員としての自覚と社会参加意欲をもつ生徒を育てるために、保護者、地域社会との連携を深める。

進んで環境整美に努める生徒を育てるために、ボランティア活動を行う。

自主・自律の力をもった生徒を育て、いじめのない学校を目指すために、生徒会を中心に自治活動を活発に行う。

他者の生命も尊重し大切にする態度を育成するために、安全教育を通して、自らの生命を大切にする指導を工夫する。

教育相談を充実させ、生徒理解を深めるために、スクールカウンセラーとの連携を図る。

特別支援教育を組織的に推進するために、特別支援学級担当者が特別支援教育コーディネーターを兼務するとともに、通常学級と特別支援学級との連携・交流を深める。

### イ 進路指導

主体的に進路選択・決定する力を育てるために、段階的に生徒が自己理解を深め、自ら生き方を考えるような指導を工夫する。

自己実現を図る能力や態度を育てるために、道徳や特別活動、総合的な学習の時間との関連を図り、望ましい勤労観や職業観を育成する。

進路の選択能力を育成するために、3年間を見通したキャリア教育を推進する。

## 年間行事計画

4月	始業式、着任式、入学式、対面式、保護者会、避難訓練、1年軽井沢移動教室、安全指導、健康診断、セーフティ教室	10月	小中陸上競技会、生徒会役員選挙、質問教室、中間考査、3年面談、WM海外派遣、避難訓練、安全指導、キャリア教育講演会都学力調査(2)、
5月	身体計測・スポーツテスト、開校記念日、区達成度調査、生徒総会、教育実習、避難訓練、水泳指導始、安全指導	11月	区一斉清掃、質問教室、期末考査、防犯訓練、安全指導
6月	修学旅行、学校公開週間、質問教室、期末考査、避難訓練、安全指導、職場体験(2)	12月	面談週間、保護者会、避難訓練、安全指導、全校美化活動、終業式
7月	租税教室、保護者会、学校保健委員会、終業式、岩井臨海(1)、社会体験インターシップ(2)、学力補充教室(3)、避難訓練、安全指導、全校美化活動、面談週間	1月	始業式、上級学校訪問(2)、職場訪問(1)、避難訓練、安全指導、連合作品展
8月	面談週間、社会体験インターシップ(2)、学力補充教室(全)	2月	質問教室、期末考査、避難訓練、安全指導、冬季移動教室(2)、新入生保護者説明会
9月	始業式、防災訓練、音楽鑑賞教室、学校公開週間、新入生説明会運動会、授業参観、避難訓練、安全指導	3月	雅楽教室(1)、3年生を送る会、遠足(3)、卒業式、水泳指導終、避難訓練、安全指導、保護者会、全校美化活動、修了式

学力パワーアップ教室(土曜日)

年間20回

放課後補充学習

毎週(火・水・木)

ふれあいタイム(茶道、手芸、英会話、体力向上教室) 毎月(指定日)

## 現況

### 1 学校施設・規模一覧

構造・規模	鉄筋コンクリート造り、校舎棟：地下1階、地上4階建			体育館棟：地上3階建				
敷地面積	6260.39 m <sup>2</sup>							
棟別	校舎棟	体育館棟	小計	内訳	校舎棟	体育館棟		
建築面積	1883.718 m <sup>2</sup>	807.695 m <sup>2</sup>	2691.413 m <sup>2</sup>		地階	調理室、食堂、格技室、機械室、備蓄倉庫他		
延床面積	8877 m <sup>2</sup>	999 m <sup>2</sup>	9876 m <sup>2</sup>		1階	校長室、職員室、事務室、保健室、主事室、通信教育室、技術科教室(2)、会議室、和室、ビデオ編集室他	プール、更衣室 管理室 他	
運動場	ア-バ-コート舗装 2600 m <sup>2</sup> フットコート 250m 直線コース 114m	ブル	10×25m		5コース	2階	普通教室(7)、視聴覚室、マルチメディア教室、家庭科教室(2)、放送局、備蓄倉庫他	体育室、更衣室 器具室 他
			水深1.2~1.4m				3階	普通教室(7)、理科室(3) パソコン室、特別活動室、他
屋上	庭園・全面芝生142.100m <sup>2</sup>	体育館	570m <sup>2</sup>	4階	普通教室(7)、音楽室(2)、美術室 図書室、多目的室他			
			バドミントンコート	塔展階	体育器具室、機械室(3) 他			

# 沿革の概要

一橋中学校	今川中学校	練成中学校
昭22.4.1 6.3制教育制度実施によって旧一橋国民学校及び都立一橋実践女学校の校舎の一部に設置	昭22.4.1 6.3制教育実施により都立今川高等女学校内に設置	昭23.2.21 設立認可 芳林小学校に開校
昭22.4.19 高田善之校長就任	昭22.4.19 初代校長 荏本太三郎就任	昭23.3.31 初代校長高師広吉就任
昭22.5.2 開校式及び入学式	昭22.5.2 開校式、入学式	昭23.4.7 第1回入学式
昭22.5.15 一橋工業学校校舎に移転	昭23.4.28 今川中学校PTA発足	昭23.5.7 PTA結成
昭22.6.9 学校後援会発足	昭25.4.1 都立今川高等女学校(現一橋高等学校)和泉小学校に移転、独立校舎となる	昭23.6.29 独立校舎完成
昭23.7.19 神田高校(旧橋本小)に移転、本校独立校舎となる	昭27.5.2 創立5周年記念式典	昭23.7.1 校章制定
昭24.4.1 後援会をPTA改名	昭29.4.1 文部省産業教育研究指定校	昭25.5.11 第2代校長中村治幸就任
昭25.10.15 特別教育活動の都研究指定校	昭30.10.1 第2代校長 佐々木寛三就任	昭26.3.23 第1回卒業式
昭27.10.28 創立5周年記念式典	昭30.12.10 産業教育施設・放送施設設置	昭26.3.25 校旗制定
昭28.9.1 文部省理科教育研究指定校	昭31.10.26 文部省産業教育研究指定校研究発表会	昭28.5.10 校歌制定 開校5周年記念式
昭30.9.1 文部省産業教育研究指定校	昭32.4.1 都立一橋高等学校今川分校廃止、完全独立校舎	昭33.4.1 第3代校長浅沼操就任
昭30.10.1 高田善之校長都立忍岡高校長に転補、小林茂校長就任	昭32.10.20 都音楽研究協力校研究発表会	昭33.6.16 創立10周年記念式
昭32.6.1 創立10周年記念式典	昭33.3.8 創立10周年記念式典、記念事業として講堂増改築工事完了	昭39.4.1 第4代校長福田正雄就任
昭33.4.1 都指定科学センター校となる	昭34.4.1 第3代校長 木村三郎就任	昭41.4.1 第5代校長阿部弘司就任
昭34.5.1 グラウンド結成	昭34.10.25 図書館設置	昭43.5.9 創立20周年記念式
昭39.4.1 小林茂校長麹町中学校長に転補、直岡元秀校長就任	昭38.4.1 都指定科学教育センター校	昭45.4.1 第6代校長桐山博就任
昭42.1.14 創立20周年記念式典	昭40.1.29 体育館・特別教室等落成	昭48.2.13 教育美術展都最優秀校
昭42.4.1 直岡元秀校長都立明正高校長に転補、吉住傳吉校長就任	昭40.4.1 第4代校長 平田幸男就任	昭48.11.2 25周年記念文化祭
昭45.4.1 文部省委嘱校(学習のプログラム化)昭46まで	昭42.11.12 創立20周年記念式典	昭49.4.1 第7代校長富田武忠
昭45.4.1 区研究効力校(能力・適性の発見・伸長)昭46まで	昭44.1.18 LL教室新設	昭51.9.21 校舎改築、神田和泉町の仮校舎に移転
昭47.1.22 創立25周年記念式典	昭44.11.20 都区教育方法研究協力校研究発表会	昭53.4.1 第8代校長八木徹夫就任
昭47.3.31 中村忠久校長就任	昭46.4.1 第5代校長 松沢光雄就任	昭53.6.30 新校舎完成
昭51.11.26 区研究協力校(生徒の意欲的な活動を促す指導法の研究)	昭46.11.12 技術家庭科研究会全国大会	昭53.7.17 和泉町仮校舎から現在地に移転
昭52.1.14 創立30周年記念式典	昭49.9.3 校庭ウォークトップ舗装	昭53.9.9 新校舎落成式
昭52.3.31 中村忠久校長退職	昭51.4.1 第6代校長 佐藤伸一就任	昭53.11.2~4 創立30周年記念式
昭52.4.1 古賀周作校長就任	昭51.12.9 区研究協力校研究発表会	昭54.8.10 プール竣工
昭53.3.19 通信教育課程30周年記念式典	昭52.10.29 創立30周年記念式典	昭56.4.1 第9代校長原島信義就任
昭55.8.22 改築のため駿河台校舎に移転	昭55.8.31 窓枠サッシ改修工事完成	昭60.1.28 東京都学校給食優良校として表彰される
昭57.9.1 新校舎へ移転	昭57.4.1 第7代校長 小出義人就任	昭60.4.1 第10代校長天満修就任
昭57.9.11 新校舎入校式	昭57.8.20 教室塗装(15教室)	昭60.10.30 文部大臣より学校給食優良校表彰
昭57.10.30 校舎落成記念式典並びに創立35周年記念式典	昭58.9.10 屋上舗装	昭61.2.20 視聴覚教室設備改善工事完成
昭58.3.31 古賀周作校長退職	昭58.11.8 LL新装置設置	昭62.8.31 建設大臣より清掃美化活動優良校として表彰される
昭58.4.1 等々力肇校長就任	昭59.3.17 第1会議室改修	昭62.8.31 LL教室設備改善工事完成
昭58.12.13 区研究協力校(給食指導における生活指導のあり方)研究発表	昭59.9.3 2階西側トイレ改修	昭62.10.24 創立40周年記念式
昭60.2.27 筑波大との共同研究発表(学校教育におけるCIA汎用)	昭60.8.3 第1技術科室改修	昭63.4.1 第11代校長青柳健一就任
昭61.2.12 同、第二次研究発表	昭61.2.7 区研究協力校発表会	昭63.4.20 科学技術庁長官より創意工夫育成功労学校として表彰される
昭61.11.4 創立40周年記念行事(運動会、作品展、学芸会)	昭61.8.31 体育館窓枠サッシ改修工事	平元5.8 多目的ルーム(和室)開設
昭61.11.8 創立40周年記念式典	昭61.10.25 創立40周年記念式典	平元12.15 文部省学校週5日制調査研究協力校に指定(区研究協力校)
昭62.2.10 区研究協力校及び筑波大を中心とする共同研究第3次発表	昭62.1.27 ランチルーム完成	平2.9.8 屋上防球網・マラソンコース全面改修工事完成
昭62.3.31 等々力肇校長退職	昭62.4.1 第8代校長 五十嵐邦享就任	平3.4.1 東京都ボランティア活動普及事業協力校に指定
昭62.4.1 武隈踐夫校長就任	昭63.4.1 都国際理解教育推進校、区研究協力校	平3.8.31 コンピューター教室開設
昭62.11.19 中島文部大臣視察	昭63.8.31 校舎外装改修	平4.2.28 文部省学校週5日制調査研究協力校発表会
昭63.3.11 都研究推進校(個人差に応じた学習指導)昭64まで	平元2.28 音楽室・校長室内装改修	平4.4.1 第12代校長柴屋晴夫就任
昭63.5.6 中学生海外交流開始	平元8.31 放送室改修、放送電源配管改修	平5.3.15 区環境美化功労賞受賞
昭63.10.27 63年度学校給食優良校として文部大臣より表彰される	平2.2.9 都国際理解教育推進校、区研究協力校研究発表会	平5.3.22 会議室・校長室他改修工事完成
昭63.11.6 通信教育課程40周年記念式典	平2.8.31 校舎北側外壁改修、普通教室(3階廊下)内装	平5.12.22 東京都健康教育努力学校として表彰される。
平成元年 都研究推進校(個人差に応じた学習指導・進路指導)	平2.10.31 普通教室TV設置(BS付)	平6.3.31 外灯改修工事完成
平3.3.31 武隈踐夫校長退職	平3.8.31 体育館内部、照明改修、校舎内部塗装(廊下、階段部分)1階生徒用便所改修、職員室内部改修	平6.4.1 東京都ボランティア活動普及事業推進校に指定
平3.4.1 飯塚峻校長就任	平4.4.1 第9代校長 入野泰有就任	平7.4.1 第13代校長川西昭治就任
平4.4.1 区研究協力校(新教育課程実施に対応した各教科・領域の指導法の研究)平5まで	平4.9.17 パソコン教室及び技術科室設置	平7.10.1 普通教室・特別教室冷房工事完成
平5.3.31 飯塚峻校長退職	平6.2.28 屋上防水塗装、2・3階便所改修	平10.3.7 創立50周年記念式
平5.4.1 岩城孝次校長就任	平6.3.31 プール側防球ネット取付	平11.2.4 「豊かな心を育てる道徳教育」千代田区研究協力校発表
平6.2.7 区研究協力校(各教科・領域の指導法の研究)	平6.8.31 校庭舗装、教室床修理	平11.4.1 第14代校長増田義男就任
平9.3.31 岩城孝次校長退職	平6.11.4 窓枠補強工事	平15.4.1 第15代校長橋本正則就任
平9.4.1 松丸肇一校長就任	平8.4.1 第10代校長 島川 登就任	平16.1.29 千代田区教育委員会研究協力校発表会「自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に学習する生徒の育成」
平9.11.16 創立50周年記念式典	平9.11.8 創立50周年記念式典	
平10.2.9 文部大臣 町村信孝氏来校	平11.4.1 第11代校長 佐藤榮一就任	
平10.11.22 通信教育課程創立50周年記念式典	平12.1.30 耐震診断結果により仮校舎(区総合体育館)に移転	
平12.2.15 区研究協力校(生徒一人一人が生き生きと参画する授業の展開)研究発表	平12.9.1 校舎改築工事完成、授業再開	
平12.3.31 松丸肇一校長退職	平13.1.22 校庭改築完成	
平12.4.1 猪爪貴保校長就任	平13.2.16 区研究協力校研究発表会	
平14.7.18 感動体験学習始	平14.4.1 児童生徒ボランティア活動普及事業協力校	
平15.3.31 猪爪貴保校長退職	平15.1.20 無線LAN・ノートパソコン整備完了	
平15.4.1 村上みな子校長就任		
平16.5.6 地球縦周りを一周の旅パイロット校として発信始		
平17.1.31 区研究協力校(国際社会において豊かに表現できる人間の育成)		
平17.4.1 一橋中学校、今川中学校、練成中学校の三校統合により、千代田区立神田一橋中学校となる。		
村上みな子校長就任		
平17.10.17 2Fマルチメディア室完成		
平17.11.17 屋上芝生庭園開園式		
平18.8 体育館、プールのアスベスト除去工事		
平19.8.31 校舎耐震工事完了		
平20.2.15 創立60周年記念式典		
平20.4.1 岡田行雄校長就任、特別支援学級(固定)を開設		
平20.11.30 通信教育課程創立60周年記念式典		
平21.3.27 体育館屋根塗装終了、1階北トイレ改修工事		
平22.1.20 区研究協力校(生徒が意欲的に参加する授業の工夫)研究発表会		